




第 8 回 2026 年 日本サインズ・オブ・セーフティ集会 (ギャザリング)

子どもの声に応える

～サインズ・オブ・セーフティで外せないことを考える～

開催日時	ギャザリング 2 日間 2026 年 2 月 22 日 (日) 2026 年 2 月 23 日 (祝・月) いずれも 10:00～16:00 情報交換会 2 月 22 日 (日) 16:30～18:30
会場	大崎ブライトコアホール (ギャザリングと情報交換会) 〒141-0001 東京都品川区北品川 5-5-15 大崎ブライトコア 3F
参加費	ギャザリング (2 日間) SIGNs+ 会員無料、非会員 3,000 円 情報交換会 2,500 円 (但し、飲み物は、各人持参)
申込期限	2026 年 2 月 8 日 (日)
申し込み方法	以下のリンクもしくは QR コードからお申し込みください。 https://forms.gle/PYdb9gbYW4j6gHUJA 

集会 (ギャザリング) は、市区町村の相談機関や児童相談所などで取り組んだサインズ・オブ・セーフティの実践報告会

子どもたちの声を聴き、聞くべき人に届け、つながり、応えていくとは？

国内各地の児童相談所等、児童にかかわる現場従事者、関係者が集う場

SIGNs+ 主宰

(さいんずぷらす)

サインズ・オブ・セーフティ・アプローチの日本の拠点

〒360-0161 埼玉県熊谷市万吉 1700

代表 鈴木浩之

<https://sofs.jp/>

サインズ・オブ・セーフティ・アプローチとは・・・

キーワード：子どもたちの声、保護者との共同、ゴール志向、具体性

子どもたちの声を聴き、その声を聴くべき保護者らに届け、一緒に何がどうなっていたのかを見える化し、誰にも言えなかったことを少しずつ周りに話していくことを通し、家族がカプセル状態になりづらい環境を整え、そこでいろいろな人の知恵や助けを借りてかつて子どもたちに起きていた危害が回避されるセーフティ・プランをつくり（ネットワーク・ミーティングもしくはセーフティ・ミーティング）、プランの検証まで行うソーシャルワークの方法論

日本サインズ・オブ・セーフティ集会（ギャザリング）は・・・

- ① 当事者からのフィードバックを含めたサインズ・オブ・セーフティの実践報告
(報告に際しては、当事者の了解を得るなど専門職としての倫理綱領を順守しています)
- ② とともに実践から学ぶ仲間づくり、情報交換
- ③ 海外の児童福祉現場からサインズ・オブ・セーフティの新しい動向を知る
今回は、スウェーデン、ベルギー、カナダからの来場者がいらっしゃいます。

<div>2/22 SUN</div> <div>ギャザリング 1 日目</div> <div>10:00～16:00</div>	<div>2/23 MON</div> <div>ギャザリング 2 日目</div> <div>10:00～16:00</div>
<p>【午前】 実践報告 中野区、品川区、高知県などの児童相談所や杉並区の子ども家庭支援センターなどの現場から当事者の声を交えたサインズ・オブ・セーフティ・アプローチ</p> <p>【午後】コミュニティ・オブ・プラクティスのサビン・ドゥ・クラークとマイク・カスラーと日本の現場従事者の対話型セッション 『何を』、『どのように』、『なぜ』、『誰が』を貫くもの」 逐次通訳付き ネットワーク・ミーティング（インフォーマルなネットワークとつながった保護者らが、セーフティ・プランづくりを行う場）の取り組みを紐解く。方法論的な正答に向かって引っぱるのとは異なり、実践した者と一緒に探る対話は、相手のきらきらとした人間性、あたたかい理解というケースワークの営みに重なる。</p>	<p>【午前】【午後】 実践報告 中野区、品川区、高知県などの児童相談所や杉並区の子ども家庭支援センターなどの現場から当事者の声を交えたサインズ・オブ・セーフティ・アプローチ</p> <p>ギャザリング参加者のリフレクト（フロア・インタビュー） 色紙贈呈 ギャザリング・スライドショー</p> <p>会場には、各地、各国の持ち寄りお菓子コーナー有り 参加者全員に SIGNs+ロゴ入り缶バッジをプレゼント</p> <div data-bbox="1225 1608 1422 1823"></div>

16:30 から 18:30 情報交換会

ギャザリングに関するお問い合わせは、以下のメールからお願い致します。

signsofsafety.plus.events@gmail.com